

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	法人の経営理念をグループホームの理念としてきましたが、地域密着型サービスの意義を盛り込んだグループホーム独自の理念の作成に取り組む。	地域密着型サービスの意義を備えた理念を作成し、職員間で共有し、地域に浸透させていく。	職員間で話し合いをし、地域密着型サービスの役割を反映させた理念を作成する他、ご家族様及び近所の方々にご理解していただくため、ホーム内の目立つ場所に掲示する。	1か月
2	35	今まで火災に伴う訓練は行っていたが、地震に対する訓練を行っていない。	震災に伴い、電気・ガス・水道が止まった時の対応と備蓄品(非常用)の確認・避難経路の確認と確保する。	実際に職員全員が震災を経験したことを活かし、非常食・非常時使用する物品・非常時の職員体制・避難経路の確保・確認を全員で話し合い、災害に備える。	3か月
3	10	利用者・家族等は職員と対等な関係にあるにも関わらず、苦情・要望・意見を述べにくい立場にある。	利用者・家族等が、苦情・意見・要望を外部へ表出しやすい環境をつくる。	苦情担当窓口の設置のお知らせを再度掲示すると共に、利用者・家族等の声をサービスに反映できるように、目立つ場所に「ご意見箱」を設置する。	2か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。